



「開設祭9周年」

バプテスト心身障害児(者)を守る会

愛の手を

第217号

発行責任者
 社会福祉法人 バプテスト心身
 障害児(者)を守る会
 重症心身障害施設 久山療育園
 重症児者医療センター
 理事長 宮崎 信義
 編集責任者 鍋山 泰三
 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
 ☎(092)976-2281
 FAX (092)976-2172

私は、監事を2021年4月より仰せつかりまして、3年が経過しました。この3年間は園全体がコロナ対応ということで、理事長・センター長はじめ職員の皆さまは本当に大変でした。(「新型コロナ敢闘記」としてまとめられています)

いまだコロナは終息していませんが、その中で事業計画は着々と進められて、皆さまのご努力で課題の改善が進んでいることに感謝申し上げます。

久山療育園は1976年9月設立、まもなく50年という大きな節目を迎えます。設立以前9年前の1967年12月には「愛の手を1号」が発行されています。

そこには叶昌全先生が「わたしはバプテストのキリスト者有志で、『心身障害者(児)を守る会』を組織して二ヶ月になります。お金もなく、力も乏しいものですが、心身に障害をもち、重荷を負って生活している人々やその家族に、愛の手をさしわたしたちは立ちあげます」

「人との結びつき」

監事 堤 秀幸

「と決意を述べられています。この時から57年「思いを具現化し、理念が出来、事業体が出来て、運営されてきた」歴史があります。多くの方々の努力・支援で重症児者本人またその家族が支えられてきました。そして「新しい福祉社会づくりの拠点」の具現化として「在宅支援センター」と「重症者ホームひさま」が2015年7月に開設されました。益々社会から認識され頼られる存在です。

今後はみんなの願いである土地が借地から所有になることが、次の事業展開へ大きな力になるのかなと思います。早くに実現されることを願っています。

私は今回久山療育園の理解を深めるために、あらためて今まで発行された久山療育園の本を読みました。「ひびきあういのちー重症児者神学への道」は私の久山療育園理解のテキストとなりました。このテキストの最初のページ「重症児者の親として」の稿は感慨深く読みました。

また「ミットレーベン・ネットワーク」の働きについては単なる後援会組織ではなく、療育園と一緒に働く「運動体」とあるということを知りました。

「日常のボランティア活動」、「街頭募金」や「ワークキャンプ」などは正にそれですね。

少し前になりますが、私は賀来周一というルーテル教会の牧師先生が書かれた「土の器なれども」(2019年出版という講演集の中に、渥美清さんについて触れた箇所がありました。その箇所は次のように書かれています。『寅さん映画最後の第48作「寅次郎紅の花」のロケ時期はもはや渥美清のガン末期でした。その後幾ばくもなく、彼は病床洗礼を受けたのです。夫人がカトリックの信者だったから、その影響が大きかったと思います。彼は「寅さん」として、人間は究極の安心をもとめていることを彼の漂泊の人生に映し出してくれました。それによって誰もが、自分の人生に何がなければならぬかを知ることが出来るのです。そして映画の寅さんが求め続けた安心感を、信仰者として、究極の私たちで知らせてくれたのが、実人物田所康雄であります。』

渥美清さんと久山療育園は関係はありませんが、久山療育園もこの「安心感」を与えてくださっているなと思います。賀来周一先生が書かれた渥美清さんのことを紹介しました。賀来周一先生のおっしゃる「自分の人生に何がなければならぬか」という問いはよく耳にします。人によって考え方は違うでしょうが、私は「人との結びつき」だと思っています。そしてこの「安心感」は「人との結びつき」の中から醸成される気がしています。久山療育園の事業は「医療」と共に「安心感」を与えてくださっていると感じています。

久山療育園の先生方、職員の皆さまの昼夜を分かたずの働きに感謝申し上げます。

理念と展望

創立50周年記念に向けて

理事長 宮崎信義

久山療育園重症児者医療療育センター（久山療育園）と略）は、1976年9月に創立され、2026年9月で満50年を迎えます。同じバプテストの群れであるバプテスト社会福祉事業団体連絡協議会（バ福協）の職員研修会が毎年8月に行われ、今年で第38回を迎えました。その時に各事業体の近況報告を致しますが、改めてこれまで半世紀近く創立の志しと召命が与えられたことに感慨を覚えました。創立に働いた方々の志しを継承する立場として、創立50周年の展望を申し述べたいと思います。

①神の愛に根拠を持つ「機関紙は「愛の手を」」。ヨハネによる福音書3章16節に、「神は、その独り子をお与えになったほかに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」と示されています。

②施設及び職員と重症心身障害児（者）との関係は聖書にその基盤を持ち、イエス・キリストの掟、すなわちマタイによる福音書22章37～39節の「最も重要な掟」に基礎を置くものです。

久山療育園の障害児（者）福祉実践と創立理念を聖書に聴く
I 設立の目的から
「重症心身障害児に愛の手を」という精神で設立されました。「重症児が社会の片隅に収容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置付けられることを願う。従って、久山療育園は単なる収容施設ではなく、新しい福祉社

会づくりの拠点である」という言葉が設立時に交わされたと聞いています。その理念が以下のように私たちの行動指針となっています。

③「重症児者と共に」～障害児者が地域の中心にあることを願う。このことは、マルコによる福音書3章3節に「イエスは手の萎えた人に、『真ん中に立ちなさい』と言われた」ことに倣うものです。

II 運営基本方針から

この働きは、社会のただ中で障害児と共に生きようとす

①世と世の価値観がいかに移り変わるうとも、私たちの働きの土台はキリストの福音である。コリントの信徒への手紙一の3章11節「土台はキリスト」から、イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。

②キリストに倣い、キリストに仕える働き。マタイによる福音書25章40節に「はつきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれられたことなのである。」と記されていますが、この言葉はキリスト教社会福祉のキーワードとも言われ、またマザーテ

レサも大切にされた御言葉ですが、久山療育園もこの姿勢に学び続けています。

III 療育基本方針から

久山療育園は「重症心身障害児（者）と共に」在り、等しい存在として医療福祉支援に召されています。共に在る対象者の生活空間の位置と配慮から、「健康な人の視点」として障害者がみえたら放っておかず抱えていつてあげたいと願うこと、「対象者の視点」として必要なことは手助けしてもらわねばならないが、可能な限り自分自身のこととは自分で行いたいとの声に聴き続けることが大切だと思います。対象者（障害者・高齢者・幼児）は社会にとって何か周辺的な存在になりがちですから、社会と

言う群れの中にながら、群れの中に入っていない事情があります。

私たちが「弱い」あるいは「弱点」だとおもえるところに「神の力」「キリストの力」が働かれます。苦しみや人間的な弱さの中にあっても、キリストの力が働いて下さり、困難な状況にも甘んじ、喜びを感じることが許されています。

聖書が示す「共生」とはどういうことでしょうか。デイー

トリッヒ・ボンヘッファアは、「共に生きる生活」の中で、「弱い者や見栄えのない者、見たところ役に立たない者をキリスト者の生活共同体から締め出すことは、まさに貧しい兄弟の姿をとって戸を叩き給うキリストを締め出すことを意味する。」といっています。（デイートリッヒ・ボンヘッファア：「共に生きる生活」、森野善右衛門訳、新教出版社、1975年。）

それでは聖書で言われる兄弟、すなわち「キリストにある兄弟」とは、どのような人たちを言うのでしょうか。マタイによる福音書23章8節では、イエスを救い主また指導者と仰ぐ者は、相互に「兄弟」なのであると書かれています。このように、その関係のあり方や私たちをつなぐものは何かを、聖書に聴いていくと、人がお互いを所有し合えるのはただキリストを通してのみであることが示されています。たとえクリスチャン（キリスト者の交わりといえども、それ以上のものを求めようとすると一切は濁った要求であるとボンヘッファアは指摘しているのです。



おわりに

創立48周年の今、創立理念を確かめながら、その根拠を聖書に訪ねて参りました。久山療育園のクリスチャン職員は、一般社会事業の比率よりは多いと思いますが、それでも少数者です。この機会にあえて聖書を紐解きましたが、聴きなれない言葉もあつたと思いますが、創立の原点に立ち帰る意味からも聖書の言葉をお示ししました。読者の皆様の心に少しでも共鳴される言葉であることを願います。

「第38回バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会職員研修会」から

久山療育園 理事長 宮崎 信義

第38回バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会(「バ協」)職員研修会は、2024年8月5〜6日の日程で、「都城グリーンホテル」(都城市)を会場として開催されました。担当法人「相愛会」の企画でテーマは『奏でる福祉を求めて』〜キリスト教社会福祉の強みを今〜として学びと意見交換の時を持ちました。各法人全体で38名が参加し、久山療育園からは、各部署・職種から7名が参加致しました。「愛の手を」217号で、講演と学びの成果を紹介致します。

基調講演

『ハンセン病療養所の園歌』

講師の沢知恵氏の御経歴は、配布資料の講師紹介から、日本・韓国・アメリカで育ち、3歳からピアノを弾いておられました。東京藝術大学音楽学部楽理科在学中に歌手デビューし、現在まで28枚のアルバムを発表。第40回日本レ

コード大賞アジア音楽賞を受賞されました。東京下北沢ラカーニヤで20年以上続けている季節公演の他、ハンセン病療養所、災害被災地ほか、少年院でも精力的に活動されておられます。また2021年に岡山大学大学院をハンセン病療養所の音楽文化研究で卒業されました。

基調講演の要旨について。

①バプテスト教会との関わり…コンサートや集会に何度も招かれた。バプテストの福音と社会福祉に敬意を覚えています。②自分が育った3ヶ国(日本・韓国・アメリカ)の言葉でアメリカングレートを賛美します。私は日本人の父と韓国人の母とのあいだで生まれました。父母は共に宣教師となり世界を回りました。③日曜日訴訟の原告となったこと…主日(日曜日)に行事があり参加しないと欠席とされま

した。家族4人で訴訟を起こし、敗訴となりましたが、これからも声を挙げて行きたい。

④塔和子さんの詩から…ハンセン病療養所の中で作られた。「胸の泉に」「関わらなければ」塔和子さんは1929年生まれ。13歳の時に大島青松園に入所させられた。家族が差別されない為に何度も改名し、やがてキリスト者となりました。⑤ハンセン病者の差別と苦しみ…1907年に「癩予防法」が成立し、隔離が強制された。プロミンが開発され、癩菌が陰性化されていった。1960年以降は隔離の必要がなくなりましたが、法律が廃止されたのは1996年でした。⑥ハンセン病療養所の園歌…13ヶ所のハンセン病療養所に23の園歌があります。

事例報告

①久山療育園重症児者医療療育センター・重症者ホームひさやま施設長の金子政彦さんから。

2024年5月24日に、日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会が千葉県で行われ

ました。その中で、「地域共生社会における重症心身障害児者のグループホーム」と題してシンポジウムがあり、重度の重複障がい者を受け入れる全国4施設のうち1施設として、当施設も発表する機会を得ました。発題は、重症心身障がい者のためのグループホーム「重症者ホームひさやま」は、2024年7月で開設後、丸9年となり、その年間の歩みを振り返りつつ、4つの視点に分けて、当施設の現状と課題についてお話しした。詳細については発表者からお知らせする機会も思います。

②「児童福祉」しんもり福祉会理事長 松野五郎さんから。歴史…1966年4月に平和の子保育園の立ち上げ。定員20名の無認可保育園、7月に定員60名の認可。9月には2階に学童保育を開く。教会の機能停止…1970年1月18日に新森小路教会の機能が停止された。

1974年における運営について、新森小路教会と日本バプテスト連盟との関係を平和の子保育園が引き継ぐ契約を実施。新園舎建設…1994年12月に社会福祉法人「しんもり福祉会」設立総会が開催された。1995年3月に新園舎竣工。

③バプテストめぐみ会早崎元弥さんから。本部拠点・特養老「バプテストホーム」(80名)、短期入所生活事業(6名)。地域拠点・修学院拠点(35名)、高野拠点(35名)、粟田拠点(35名)。地域包括ケアシステム・多職種連携(葉)と地域作り(土)。地域共生社会の現在の状況・都市部への人の異動。個人主義化や核家族化、共働き世帯の増加などの社会の変化。個人が抱える生きづらさ、リスクが複雑化・複合化。

④キリスト者奉仕会副施設長 福田真由美さんから。キリスト者奉仕会「ふれあい講演会」(2024年7月13日)について…合理的配慮を当り前に…民間事業所においても義務化される。障がい者の働く場の充実…法定雇用率の引き上げ(2024年2.5%、2026年2.7%)。手話を拡げていくために…福岡県でも「手話言語条例」が制定された。大牟田恵愛園「入所における移動支援の取り組み」…利用者への思いを聞き、その思いを実行していく。障がい者の中心にあるのは、「障がい」ではなく、「その人自身」。その人の人生はその人自身が決め

る。共に生きる…キリスト者奉仕会の基本の中軸。

グループディスカッション及びグループ発表

3グループに分かれて、基調講演や事例報告及び研修会全体について討議されました。要約しますと、①沢知恵さんの講演から「ハンセン病療養所との関わり…「関わらなければ」…世代を継承していく大切さ。音楽の力。理屈ではなく、関わる事が大切。ハンセン病者は断種を強いられ、「回復者」となっても疎外された。人間性の否定…「民族浄化」の為にと言われた人々。「ハンセン病回復者」の存在や居場所は奪えない。②事例報告から「関わる事の大切さ。福祉に従事する人が幸せに繋がっているか。地域の人のつながりの大切さ…「障がい」や「防災」など。

おわりに

以上、第38回「バ福協」職員研修会のご報告を致しました。キリスト教社会福祉が実践する「児童福祉」「高齢者福祉」「障がい者福祉」について、2日間 にわたる協議がなされました。福祉事業の取り組みについては

各法人・事業体の取り組みは異なりますが、キリスト教社会福祉の理念を共有し、働き人を育成するという大切な研修会となっております。新型コロナウイルス感染症により制限がありました。1984年の第1回研修会(キリスト教社会福祉とは何か、神戸市)以来、38回を経過したことは大きな意義があると思います。

研修会後の理事会で、2025年度「第39回夏期職員研修会」について、バプテスト心身障害児者を守る会・久山療育園重症児者医療療育センターが担当し、2025年8月4日(月)～5日(火)の日程で開催されることになりました。当法人が担当しますので、事務局を中心に今日の課題からテーマを選び企画して参りたいと思います。



「今年も届きました」



ロジテム九州さんより今年も献品の、お話を頂きました。毎年、利用者さんの為に、このような機会を頂き、感謝しております。さっそく品物を購入させて頂きましたので、紹介させて頂きたいと思っております。まず、私達が最も使用している体温計です。現在、感染症(新型コロナ)などの観点から非接触体温計を3本、購入させて頂きました。

次に卓上吸引機です。以前の吸引機に比べ、コンパクトな物なので場所を選ばず使用できそうです。今後も利用者さんの健康な生活がいつまでも続くように献品された品物を大事に使わせて頂きます。

(看護部長 藤島信也)

病気のからだから
人の第21回

「くすりの話」(第2話)

センター長／理事 岩 永 知 秋

以前、くすりの話を一度書きました。毎年の薬価改定では多くのくすりが薬価を切り下げられています、その中で異変が起っています

■後発薬(ジェネリック医薬品)の危機

最近の報道で、咳止めや去痰薬、抗生物質などの品切れが話題になっているのはご存じでしょうか。これらの多くは後発薬で、品不足になっては3年以上になります。後発薬(ジェネリック)とは先発薬(新薬)の特許が切れたあとに、同じ有効成分で製造・販売される医薬品のことです。新薬の開発には10年以上にわたる長い年月と、数百億円もの開発コストがかかります。このような開発にかかる費用や期間が抑えられるため、後発薬は先発医薬品より安く価格が抑えられます。したがって、患者にとつてはくすり代への負担が減り、国にとっては高騰する医療費の抑制につながります。「ジェネリック」

とは、医師がくすりを処方する際に、商品名ではなく一般名(generic name)を記載することが多いため、世界共通の呼称となりました。安くて、効果は変わらず、安全性も問題ないなら、後発薬が良さそうですね。ところが2020年末、小林化工(福井県)が睡眠導入剤成分の誤混入による健康被害を起し、業務改善命令を受けるとい問題が発生しました。その後後発薬メーカーの不正が相次ぎ、それから3年余りで21社が行政処分を受けました。これにより各地の薬局で品切れを生じることとなりました。

今年5月には、後発薬メーカー長生堂製薬(徳島市)で、製造管理上の不備が発覚し、一部製品の出荷を停止することが発表されました。すると、抗生物質に強みを持つ同社に製造を委託していた、大手の沢井製薬や東和薬品もそのおりで出荷停止に追い込まれることになりました。

後発薬メーカーは中小企業

が多く、またオーナー経営が多い特徴があります。そして緊急事態が起きた時の生産に余力が乏しいのが現実です。品切れを防ごうと医療機関や薬局は、問題が発生していないメーカーへ発注を増やす結果、生産余力の少ないメーカーは出荷停止を余儀なくされ、その連鎖が玉突き状態で繰り返されるのです。2024年4月時点で後発薬品目の16%が出荷制限、14%が出荷停止となっています。

これには後発薬の宿命が関係します。先発薬の特許が切れると、後発薬メーカーは一律に同一成分のくすりを製造・販売に走るため、過当競争となり単価が下がります。しかも採算割れとなっても医薬品には安定供給義務があるので、簡単には撤退することができません。赤字の穴埋めをしよ

うとメーカーは他の後発薬の製造に乗り出しますが、それもすぐ採算割れになるとい悪循環に陥ります。このような凶式はあらかじめ想定できるものかと思うのですが、国は「後発薬を使え」「医療費を下げる」の号令はかけたものの、メーカーのこのような産業構造には手を付けることがありませんでした。後発薬の

品切れが相次ぐようになってから、厚労省は慌てていろいろな対策に乗り出しています。構造改革の遅れを指摘する声があちこちから聞こえてきます。

■ドラッグロス

難病や希少がんに対する新薬が、先端バイオ技術を用いて欧米で次々と開発されています。しかし、このような新薬は日本になかなか入ってこないという状況が生まれています。すると、患者さんが優

れたくすりの恩恵を逃すことにつながります。これを「ドラッグロス」と呼んでいます。2023年の時点で、欧米で実用化されていてわが国では承認されていない医薬品は143品目、そのうち86品目は国内での開発にも着手されていません。その多くは、海外ベンチャー企業が開発しており、希少疾患、小児用の医薬品だそうです。特にこれらにくすりは市場規模が小さいため、欧米市場が優先されています。

一方、海外で創薬された最先端のくすりが日本に入ってくるのに現状があります。その多くはバイオ医薬品と呼ばれるものです。遺伝子の働きに着目した特殊な抗体や、新型コロナウイルスワクチンに用いられたようなRNA技術を応用したくすりなどがそれです。これらの研究開発費は時に数千億円に及びます。特定のがんや難病などは患者数が限られており、かけた研究開発費を回収するため欧米では高額な薬価が認められています。日本では国民皆保険制度の下、海外より薬価は安く設定せざるを得ません。高額では保険制度自体の破綻を招くからです。しかも最近の円安の影響も大きく、貿易収支が悪化している要因も見逃せません。このため欧米企業にとつて日本市場の魅力は乏しく、日本向けの新薬開発が滞る結果をもたらしています。さらに、日本が独自にこ

れが目立つことが問題となりました。これを「ドラッグラグ」(ラグは遅れのこと)と呼びます。2009年ごろまでは2〜3年の遅れがあることが多かったのですが、審査体制の整備などによりこのラグは短縮されてきています。

これらの新薬を開発できる力は海外に比較して劣っています。売上高の上位300品目における日本企業発の製品は、年々減少しています。今後わが国は、欧米に負けないように創薬する力をつけることが望まれます。

■新薬の治験とは

「治験」ということばは耳にしたことがありますか？「治験」とは新しく出てきたくすりを医師が処方して使うために、事前に行われるテストのことです。このテストは国(厚生労働省)がそのプロセスを厳しく取り決め、またモニタリングしています。新薬が本当に有効なのか、しかもこれまで存在するくすり以上に有効性が高いのか、また安全に使うことができるのかを厳しく調べることができるのです。それに先じて、新しいくすりが開発されるには、非臨床試験、つまりヒトに使う前に動物や細胞を使って、その有効性と安全性が検討されます。この基礎的な検討で一定の結果が得られると、初めてヒトに投与してその有用性を分析する治験(臨床治験)へと進みます。人に投与して調べる治験には第1相から第3相までの段階があり、

すべてをクリアしないと市販されるくすりとはなりません。第1相 健康な人を対象に新薬の吸収や代謝を調べる。第2相 薬の対象となる少数の患者さんに投与して、有効性、安全性を検討するとともに、使用する用量、投与回数などを検討します。

第3相 対象となる患者さんの数を増やします。必ず対照(コントロールと呼ばれます)を設定し、新薬を使わない対照群と、新薬を用いる試験群とを、無作為に割り付けて検討します。「無作為」とは、調べる側や調べられる側の作為が入ることのないように、割り付けを行うものです。この場合、対照(コントロール)となる被検者にも、薬を投与する治験者にも、そのくすりが新薬なのか、対照薬なのかはわからないようにします(二重盲検)。対照群は先行薬と比較するか、先行薬がなければ偽薬(プラセボ)との比較のもとに、新薬の有効性、安全性を検討します。また試験期間も長くたって、長期の有効性、安全性も確認することが要求されます。

れたうえで上梓されるのです。この第1相から第3相までの治験のプロセスには、平均して10年前後の長い時間を要します。つまり、新薬が使えるようになるには、長く厳しい道があるのです。

■高価なくすりや機能性表示食品の問題

を医療保険制度が補っているわけです。したがって、高額医薬品がたくさん使われると、保険制度そのものが成り立たなくなる可能性が出てくるわけです。この問題はこれから重要な検討課題となります。

新薬に関して、高額医薬品と医療財政の関係が取りざたされています。バイオ医薬品や分子標的薬などがこれに相当します。医学の進歩によりいろいろな病気が起こるメカニズムが解明されるとともに、そのメカニズムをつかさどる物質や分子を標的として、新薬がつくられるようになりました。これらのくすりを作るには、先端技術と最新知識の粋をつぎ込む必要があります。したがって、開発に巨額の研究費が必要になり、薬価も極めて高額に設定されることとなります。しかしながら、日本の医療は皆保険制度の上で運営されていますから、薬剤費が高騰すると、当然医療財政は逼迫してきます。患者さん本人には高額医療制度が適用されるため、個人の負担額は一定以上にはならない仕掛けになっていますが、これ

機能性表示食品にも問題が出ています。その有効性を示す根拠論文が、第3者の研究者からではなく、メーカー所属の研究者(社員)から出されていることや、その論文を掲載する学術誌に偏りがあつたり、論文そのものの質に問題があるなどの疑惑があるからです。「紅麴」(小林製薬)サプリメントによる健康被害が報道されましたが、認定制度に欠陥があることが指摘されています。そもそもこの種の食品は、国による審査を受けることなく、企業側が自己責任のもとに効果の根拠を示して届け出れば販売できるからです(届け出制)。

評議員 人事報告

評議員2名の退任(8月22日付)により、8月23日(金)に第4回評議員選任解任委員会が開催され、下記の評議員2名が選任されました。

- 評議員(敬称略) (退任)安藤 榮二 田川 大介 (新任)石橋 大海 平川 宣就

任期は2024年8月23日から退任評議員の残余期間(2025年6月まで)です。



病棟イベント

「美味しかった喫茶活動♪」

6月は喫茶活動がありました。ゼリーやケーキなどのお菓子があり、好きなものを自由にとっていくバイキング形式でした。きれいなお菓子がたくさんあり、「あれもいいな！」「これもおいしそう！」などスタッフと一緒に迷っていました。今回はボランティアの方にも協力していただき、久々の交流に皆さん笑顔になられていました。



「チョコのケーキを食べるよ！」



「イチゴのケーキ食べるよ！」



「みんなでハイチーズ！」



「青い傘とパシャリ！」



「ミニバスハイクに出発！」

また。交流ホールには壁にアジサイ、そしてカラフルなビニール傘を飾っており、みんな好きなように写真を撮られていました。ボランティアの方とおしゃべりしたり、お菓子を食べたり普段と違う雰囲気を楽しまれていた様子でした。
めぐみ棟で喫茶不参加の方は、ミニバスハイクを実施しました！
(ひかり棟 保育士 大浦真妃)

「おばけ屋敷に出発——！」

7月17日と18日。久山療育園ひかり棟とめぐみ棟で、夏祭りを開催しました！

今年の夏祭りは「おばけ屋敷——」。少しドキドキしながら出発です！

おばけ屋敷はおばけと仲良くなれるお部屋と少し怖いお部屋に分かれています。

仲良くなれるお部屋のテーマは、「きて！みて！発見！ようかいたちと遊ぼう！」。鬼太郎になりきったり、河童に挨拶したり、おばけに変身できるカメラで写真を撮ったりとたくさん笑顔が見られました。



「鬼太郎になりきったよ！」



「輸入道とパシャリ！」



「怖い妖怪と対面！」



「お札で封印！」

でも、お札を張り付け、封印すれば大丈夫！無事に封印ツアーから帰ってきた皆さんはどこか誇らしげな表情が見られました。
今年の夏は暑かったですが、おばけ屋敷に参加し、涼しい夏になったのではないのでしょうか？
参加できなかった方は、日を改めて病棟の活動として開催します。

(ひかり棟 保育士 山下莉奈)

めぐみ棟より

「出発進行ー！」

乗ってワクワクいいお天気に恵まれて志賀島へドライブ！



「仲よし三人娘」

キラキラ太陽が眩しくてチャームポイントの目も細くなるくらいだったけど、いい景色はバッチリ！



「常夏娘」

バスの中でも楽しくルンルン気分！水分補給も忘れずに好きなジュースをゲットし楽しい時間を過ごしました。さあー次は誰の番かな？

(めぐみ棟)

介護福祉士 犬塚美樹



「ジュースゲットしました。」



「よくばっちゃった」



「海の香りがします」

ひかり棟より

「待ちに待った夏遊び」

コロナクラスターによる1か月の隔離生活がやっと解除になった当日みんなで水遊びをしました。部屋から出られることも久しぶりであった今日は久しぶりの活動に始まる前からスタッフ含め、たくさん笑顔が見られました。ズボンや上着の裾をまくって気合十分です！

床から噴き出す水に足や手を伸ばし水に触れました。

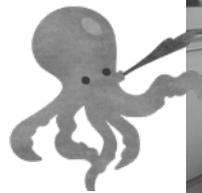
「大物はどれかな？」「○○さんが制作した魚を釣りますか？」と職員と相談しながら魚釣りを行いました。四苦八苦しながらもお目当ての魚が釣れると「よし！釣れた!!」と職員と一緒に喜びを分かち合いました。釣れた魚を見てニッコリ!! みんなで釣れた魚をお披露目しゲームを終えました。



「ひんやり良い感じ！」



「足にかけるよ！」



「豪快に水浴び！」



「冷たくて気持ちいい！」

また、水風船をプールに投げ、飛んでくる水しぶきを浴びて「きゃー」と言いながらも皆さん満面の笑みを浮かべていました。それだけでは足りなかった方はプールに全身浸かって体全体で思う存分、水を感じていただきました。

夏ならではの水遊びができ、とても良い思い出になりました。

(ひかり棟 保育士 阿部あや)

通所で頑張っています

「通所夏祭り」

今年も行いました夏祭り！夏祭りのテーマは「マツケンサンバ」でした。夏祭りに向けてガチャガチャのカプセルでヨーヨーを作ったりして夏祭りへの期待を高めて・・・、当日になり、みなさんゲームやヨーヨー釣りなど楽しんでいました☆

マツケンと写真を撮ったり、全員でマツケンサンバを踊りました♪



「ハイチーズ！」



「マツケンと☆」



「クールダウン中・・・」



「ダンス♪」

スタッフがマツケンに仮装してやってくると、大笑いされている方や驚いた表情をされている方など様々な反応を見ることが出来ました☆

最後には、ブラックライトコーナーでクールダウンして夏祭りを終えることができました。

(通所 介護福祉士 長嶋奈美)

児童発達支援事業 宇宙

「夏の宇宙」

宇宙ではこの夏も「夏の活動」をたくさん行いました。

まず夏祭り！歩行器や車に乗って自分の足を動かして会場へと向かいました。可愛い甚平姿での記念写真の後はボールコロコロゲームやヨーヨーくじ、ブラックライトコーナーなどを楽しみました。

そして大好きなプール遊び。顔に水がかかってもへっちゃらです。じょうろからの水を眺めたり手を伸ばしたり手でばしゃばしゃさせたりといつまでも遊んでいた様子でした。

次に泡遊び！保育士が手作りの泡立て器を吹くと、目の前で泡が大きくおおきく膨らんでみんなびびくり。そっと触ってみるとふわふわで、もっと手が伸びていました。

そして夏野菜スタンプでは、ゴーヤやピーマン、トマト、キュウリ、インゲン豆を準備しました。しつかり見て匂って触って、感触を確かめてから画用



「夏祭り」



「プール遊び」



「夏野菜スタンプ」



「泡遊び」

紙にスタンプしていききました。スタンプの形はもちろん、夏野菜の感触の楽しみ方もそれぞれで、つぶしたり握ったり種を触ったり。感触が苦手なお友達も握ってみる事が出来ました。

この夏もたくさんさんの経験が出来て、みんなの成長と笑顔があふれていました。秋の活動も計画しています。楽しみにしていて下さいね。

(通所 保育士 寺田智加子)

重症者ホームひさやまより

「開設祭」

7月7日に開設祭が行われました。「重症者ホームひさやま」ができてから9周年となりました。



「飾り付け」

毎年楽しい催しを開催していますが、今年はお寿司屋さん「ヤナロー」です！
プラレールに漢字の札を乗せ



「寿司屋 ヤナロー」

た電車を走らせお寿司のネタの漢字を当て
るクイズを行いました。漢字が得意な方が多
く、すぐにお寿司のネタの漢字を正解されま
した。ご利用者の方々とご家族一緒に正解す
るとうれしそうな表情をされていました。正
解したネタを某寿司店の様な格好をした大
将スタッフに伝えると大将が「ハイヨッー！」
と威勢良く声を出して、次々とネタをお皿へ
つという間に完食されていました。

お寿司を食べた後は、思い出の写真がたく
さん掲載されている横丁の散策や、昨年から
の思い出ムービーの鑑賞会を行いました。
今年も思い出を沢山残しながら、健康的
に過ごし、来年の開設祭へ繋げて行きたいと
思います。保護者の方々、ご参加下さりあり
がとうございました。

(重症者ホーム
介護福祉士 岡村典昭)



「大将
お寿司ください！」



「美味しいお寿司♪」

「宗廣さんお誕生会」

2024年8月28日(水)は宗廣
清彦さん(グループホーム)の47回
目の誕生日でした。おめでとうございます！



「バルーンアート」

少し遅くなりましたが8月31
日(土)のランチタイムにグルー
プホームの皆さんと誕生会を行いま
した。バルーンアートやPOPの
飾りつけで、いつもより華やかな
ちよっと特別な時間となりました。
宗廣さんは朝からずっとニコ



「プレゼント♪」

ニコ、嬉しさが溢れていました。職
員のあいさつで誕生会が始まり、お
めでどうコールの後、お母さまから
の誕生日プレゼントが職員から手渡
されました。ドラえもん四次元ポ
ケットのように袋から次から次に出
てくるデイズニードッグズに宗廣さん
は笑顔が止まりません！宗廣さん担
当の職員からは愛情たっぷりの手作
り写真集がプレゼントされました。

その後はお待ちかねのランチタイ
ム。ピザにフライドチキン、シーザ
ーサラダ、そしてサーティーワンア
イス。見応えも食べ応えも十分です！
利用者の皆さんも大変喜んでい
る様子でした。

宗廣さんは1日、満面の笑顔で過
ごされました。

(重症者ホーム
療育員 佐藤吉幸)



「ピザ」

ぎやうりい

今年も開催しました「展示ウォークラリー」!!
通所・宇宙(そら)の利用者の皆さんが、曜日毎に職員と力を合わせて制作された作品を展示しましたのでご紹介いたします。お楽しみください。



芸術の秋風



私の木



2024 展示ウォークラリー案内図



フワフワクラゲ



アクアリウム



ひまわり畑



「はじき絵&パッチワーク」コーナー



かすガーランド



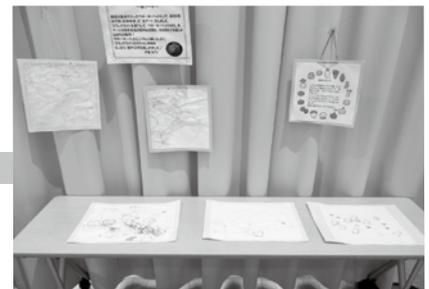
手作りカレンダー



HISAYAMA TIMES



宇宙(そら)
おうちせいさく(花火)



宇宙(そら)
野菜スタンプ・氷アート

2024年開園祭



感謝礼拝



ミットレーベン・ネットワーク
活動報告 伊原幹治会長

こうしした中、ご家族や日頃ボランティア活動をされている方々、その他、計85名の参加がありました。

「感謝礼拝」では、長年ボランティア活動を続けて来られた方々へ感謝状を贈呈、職員、永年勤続を表彰、また、久山療育園の支援団体「ミットレーベン・ネットワーク」の活動報告がありました。

今年5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、一般社会は、脱コロナの様相を呈し、様々なイベントも以前に戻っているようです。しかしながら、重度の障害を負った方々が共同で生活されている久山療育園では、感染による重症化を考慮し、今回も直接触れ合うことには制限を設けて、また不特定多数の方の参加ではなく、事前に参加を確認できる方に限らせてもらいました。

9月23日(月)の9時30分から12時に、第48回開園祭を開催致しました。

前日まで台風の影響を受け心配しておりましたが、当日は快晴で、また気温も下がり湿度もなく、涼しさを感じるほど恵まれた天候でした。

「ふれあいタイム」では、通園ご利用者とグループホーム入居者に加え、療育園入所者の方々もビデオ参加をされ、お一人お一人の手形を貼り合わせた、虹を描いた「手形のパネル」を完成し、それぞれの「つながり」を作品に表しました。



ふれあいタイム



「作品販売」では、ご利用者の方々の日頃作り上げた小物の販売を行いました。多くの方が手に取って楽しんで、大変好評でたくさんご購入頂きました。

最後に、入所者の方々もグラウンドのテラスに出て、参加者全員で「バルーンリリース」を行いました。参加頂いた皆さんの手から、願いを込めた風船はあつという間に青空に舞い上がっていきましました。ひと時皆さんと交わりの時が持てましたこと、感謝申し上げます。



バルーンリリース



作品展示販売



「ふれあいタイム」で作り上げた作品をお披露目

新型コロナウイルス対策はまだまだ続けなければなりません、来年は、もっとふれあいの機会が増えますようにと、切に願います。ご家族はじめ、ご協力いただいた方々へ深く感謝申し上げます。

(開園祭実行委員長 鍋山泰三)



右側よりボランティア
今中富美子様、福田妙子様、
田口和子様への感謝状贈呈



- 表彰者**
- ボランティア**
- (3000時間) 今中富美子様
 - (1000時間) 北古賀由美子様
 - (500時間) 福田 妙子様
 - 上村重美子様
 - 田口 和子様

永年勤続職員 表彰者

(敬称略/五十音順)

30年 陣内晶子、波田 良
25年 荒金 幸、金子政彦
15年 大坪壮志、佐藤弘章、
日高みどり、吹田智美
10年 桑原リサ、汐田美賀、
田崎加奈子、中上真紀、
吉見知夏
5年 阿部明子、池田七瀬、
占部 晶、大塚菜奈、
川久保薫、衣川万優、
塩井貴文、徳永ゆかり、
牧島なつみ、山里泰史



職員を代表して波田良さんへの表彰状贈呈

勤続表彰者の声

勤続30年

この度は勤続三十年を表彰していただき、ありがとうございます。

学生の頃、テレビの中で脳性麻痺の方が自分で描いた絵の内容を、一生懸命説明しておられたのを覚えている。観ている私には何と言っておられるのか全く聞き取れなかったが、隣におられたお母さんがすべてを通訳されていた。そのことに衝撃を受け、「その言葉を聞き取りたい」「私も分かるようになりたい」と思ったのが障害者福祉の世界に入ったきっかけだった。

入所・通所・グループホームと場所を変えながら、たくさんの時間を皆さんとすごし、少しずつですが、その言葉が聞こえるようになってきた気がしています。たくさんさんの声に耳を傾け、その気持ちに寄り添える人でありたいというのが、これからの目標です。

(重症者ホームひさやま
療育課長 陣内晶子)

勤続20年

学生時代に実習生として久山療育園に来たのが私と久山そして障害を持つ方々との出会いでした。振り返ると、あつという間の25年であり、学生から社会人に

なり、結婚、出産、また一作業療法士としての働きから、主任や課長としての働きへ、自分のライフステージの変化もまた久山療育園での働きと共にあったような気がします。本当に様々な支援やサポートを職員のみならず利用者様やご家族の皆様からいただいていると日々感謝の想いでいっぱいです。たくさんさんの思い出一つ一つが私を形成していく核になっていると感じます。

長い時間の中では、失敗や後悔もたくさんしてきました。それでも私を受け入れてくれる久山療育園と利用者様、そのご家族と「ともに生きる」。そしてたくさんさんの人生に「伴走していける」私で今後もありたいと思います。

(リハビリテーション課
課長 荒金 幸)

勤続25年を表彰して頂き、ありがとうございます。

早いもので人生のほぼ半分を久山療育園で過ごさせていただきました。若かりし頃は、やったことのない仕事でも頼まれること自体がうれしいものでした。しかし最近は、何かに挑戦する気持ちが小さくなっているように感じます。

私は今、自宅で食べたフルーツの種を播いて、観察することにハマっています。ぶどう、もも、ネクタリン、アボカド、マンゴー…いろいろな播いています。種から、根や芽が少しずつ伸びてくると、植物の持つ力強さを感じます。種の中には、冷蔵庫に数か月間入れて、冬の季節を体

験させてから播くと、発芽するものもあります。一見、発芽する力を失っているように見えても、小さな種の中に命を持っていることが分かります。

植物の種を見ながら、私も久山療育園の皆さんと共に、小さな挑戦を続けていくものでありたい、そう思っています。

(重症者ホームひさやま
施設長兼地域療育部部长
金子政彦)

勤続5年

勤続5年を表彰していただき、ありがとうございます。

私には3歳離れたダウン症の兄がいます。中学生の時に支援学校の学校祭に参加して、スクリーンで紹介された訪問学級の方々と拝見して、「会ってみたい。仲良くなりたい。」と思ったのが重症児者の方との出会いでした。

看護師になり、一般病院で勤務していた頃、ふと自分のしたい看護とは何だろうと考えたとき、中学生の頃の記憶が鮮明に蘇りました。その時、重症児者の看護がしたいんだと気づき、久山療育園に来るきっかけとなりました。

これからも、中学生の頃の、小さな夢をかたえさせてくれている利用者さん達の看護を行い、利用者さんファーストで楽しく過ごしていきたいと思っています。

(めぐみ棟 看護師 徳永ゆかり)



藤田 英彦

『夕暮れになっても光がある』
ゼカリヤ書14:6

久山療育園『第48回開園祭』を「在宅支援センター開設9周年」を記念して、今年も、9月23日に行うとのご連絡を頂き、9年前の評議員会で、当時の山田雄次理事長や二、三の評議員たちと情熱的に話し合ったことを思い出し、今年のテーマは、「重症児(者)と共に継続可能な施設と社会の実現」とあり、感慨無量でした。私も、約40年前、恵泉教会牧師時代、耳鼻科医院で、「通気」と言つて、鼻から耳に通すべき空気が脳に入るといふ医療事故に遭い、3日間意識不明、上肢障害となり、両腕がままならず左手の1本指で、パソコンの字を打つ重度障害者で、今年95才になる老人です。

が、それでも、夕方になつて、遠くの皿倉山をぼんやり眺めておりますと、自然に、コリント第一15:10の「神の恵みと憐れみによつて、わたしは今日を得ているのである」という聖書のみ言葉が浮かんでくることがあります。実は、本当に永々と生き過ぎたな」としみじみ思う私にとつて、「赦されて、今日も生命を頂き、ようやく生き永らえている」という想いです。そのような時、図らずも、偶然、ゼカリヤ書14章の「夕暮れになつても、光がある」のみ言葉に出会い、嬉しくなつて感激、この喜びを『老』を覚える方に一筆啓上を思いつき、自分の信仰に関する言葉として、皆さまとご一緒に、旧約聖書から聴きたいと考えました。

新旧約聖書をお持ちの方は、旧約聖書の最後、マラキ書の前にある12章預言書ゼカリヤ書14章6節からをお聞き下さい。ご一緒にみ言葉を聴きましよう。(口語訳聖書の1321頁)。
その日には寒さも霜もない。そこには長い連続した(主はこれを知られる。)これには昼もなく、夜もない。夕暮れになつても光があるからである。その日には生ける水がエルサレムから流れ出て、「夕暮れになつても光がある。」
そういう日には、ゼカリヤ書では「終わりの日」の象徴の日です。それは、1節の「見よ、主の日が来る」ことによつて実現します。粘り強く、「終わりの日、終末」を信じて、したたかに生きたいと祈り合いたいものです。

ゼカリヤ書は、12小預言書の最後から2番目にあります。また、このゼカリヤ書ほど終末とメシヤの来臨について重要な預言とされたものはないといわれています。学者の説によると、新約聖書に引用されているゼカリヤ書は1〜8章だけでも、実に31、9章以下に40、合計71箇所もあるといわれています。その内、ヨハネの黙示録だけで42、4福音書に27、それも終末と、主イエスの最後の1週間の記事に、多くあります。特に代表的なのは、主イエスがロバに乗つてエルサレムに入城する預言です。ゼカリヤという名は「主ヤハウエ覚えたまう」という意味です。

ミットレーベン・ネットワークからのお知らせ

「久山療育園を支援しよう」

猛暑の8月17日(土)、職員を含めて40数名のボランティアが久山療育園に集まり、道向こうの駐車場を中心に草刈りを行いました。

昼食を挟んで幼児から高齢者まで、手に思い思いの道具を持って夏草の中に踏み込んで、汗を流しました。道をゆくドライバーたちが不思議な光景を見るかのように眺めていたのが印象的でした。また、幼児用のプログラムも用意されました。

従来は2泊3日のワークキャンプを行っていたのですが、コロナによつて園内での宿泊ができなくなり、こういう形になつて今回で3回目になります。それでも、毎年工夫がなされ良いプログラムになっているように思います。昼食のカレーの他に、メロンとぶどうのおやつタイムもありました。

今年も園の協力で地域交流ホールが使用でき、そこに「久山療育園を支援しよう」の横断幕を掲げました。これは私たちが天神で行っている毎月の街頭募金で使用しているものです。毎回多くの市民の方々から久山療育園を励ます募金が寄せられています。こうして、MIT、LEBENのお揃いのティッシュを着て、「共に生きる」汗を流せたことを感謝したいと思えます。(重症児者と共に生きる)

「ミットレーベン・ネットワーク」会長 伊原幹治



2024年度 クリスマスについて

12月18日予定の「入所クリスマス」、同じく19日予定の「久山療育園クリスマス(燭火礼拝・聖歌隊)」につきましては、現在その実施と開催形式について検討中です。

大変恐れ入りますが、ご案内までしばらくお待ちください。

尚、通所クリスマスにつきましては、12月20日に実施する予定です



児童発達支援事業「宇宙」 Instagram始めました

療育の様子をご紹介します。
QRコードよりぜひご覧ください



ご協力ありがとうございました

(2024年6月1日〜8月31日) 敬称略

【法人】

一般献金

安部聖子、飯田節子、匿名、岩本留理子、きよいファミリア内科清井起鵬、草場久子、高瀬孝介・美代子、塚本吉興、堤俊雄、堤秀幸、日本キリスト教団福岡弥生教会こどもの教会、波多野陽子、樋口晶子、久山療育園手作品売上、平井純子、宮井武憲、恵キリスト教会、安川研二、矢野和美、山口正夫、吉村敏彦、吉村佐津紀
(以上1,732,650円)

【重症者ホーム】

一般献金

自動販売機売上献金、久山療育園献金箱、匿名
(以上3,046,277円)

【施設】

一般献金

飯田節子、井上美佐子、岩永知秋、古賀和男、古賀美紀、立石有梨佳、田中節子・由美、日本基督教団福岡南教会 婦人会
(以上99,000円)

【献品】

CutsalontOMOKI(タオル)、今中富美子(肌着)、枝光バプテスト教会(タオルエプロン)、草場貴子(葉書)、隈部有理(タオル他)、坂元明子(タオル)、笹倉典子(タオル他)、末田慧祐(葉書)、西南学院中学校・高等学校保護者会(タオルエプロン)、西南女学院中学校・高等学校(タオル他)、

献金申込先

- 《郵送》
社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869 久山療育園重症児者医療療育センター内
☎(092)976-2281(代)
- 《郵便振込》郵便振替【01720-8-24404】
名義：バプテスト心身障害者を守る会
- 《銀行振込》西日本シティ銀行久山支店 普71888
名義：バプテスト心身障害児(者)を守る会 理事長 宮崎信義
- 《ホームページ》当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。
個人、会社共に免税の対象になります。メール：hisayama@hisayama-smid.jp

瀬尾江(シャンプルー他)、田上洋子(葉書)、立石有梨佳(食器)、中村美雪(タオル)、日本バプテスト連盟瑞穂キリスト教会(タオル)、濱田彩子(タオル)、舞鶴幼稚園母の会(タオル)、恵キリスト教会(タオル他)、森通江(オムツ)、山田いずみ(絵本他)、横溝愛子(タオル)、吉村朱美(紙オムツ)
(以上3,780円)

メモ帳

- 7月 1日、3日 ひかり棟短時間園外活動
- 9日 県社会福祉施設指導監査
- 12日 初動避難訓練
- 16日 託児所避難訓練
- 17日、18日 病棟夏祭り
- 19日 福岡特別支援学校1学期終業式
- 22日 経営会議
- 23日 久山町社会福祉法人連絡会(ランタナ)
- 25日 経営会議
- 26日 第38回バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会(職員研修会)
- 28日 全体避難訓練(※コロナ陽性者発生により中止)、福岡県北部地区在宅重症児者連携会議・コア会議(Zoom)
- 9日 施設基準説明会(Web)
- 17日 ワークキャンプ
- 19日 経営会議
- 23日 2024年度第2回理事会、第4回評議員選任解任委員会
- 25日 第2回施設見学会
- 26日 福岡特別支援学校2学期始業式
- 7日 認定看護師研修
- 9日 経営会議
- 11日 初動避難訓練
- 12日 託児所避難訓練
- 17日 久山町社会福祉法人連絡会(ランタナ)
- 20日、26日 ひかり棟園外活動
- 23日 第48回開園祭
- 28日 児童発達支援センターjoyひこばえ施設見学

職員の異動

- (2024/7/1〜9/30)
- 【採用】
 - 7/1付 岩尾 仁美(看護師)
 - 8/1付 西田 佳苗(介護福祉士)
 - 9/17付 市野 綾香(看護師)
 - 坂本 彩(保育士)
 - 長井 智彦(事務員)
 - 【退職】
 - 7/31付 宮本 幸子(療育員)
 - 8/9付 関 友梨亜(療育員)
 - 9/20付 隈本 彩華(療育員)
 - 9/30付 長井 妙子(看護師)

ボランティアだよ

「継続の素晴らしさ」

去る9月23日(月)「開園祭」が開催されました。

今年度のテーマは「重症児(者)と共に継続可能な施設と社会の実現」とし、その中で「つながり」を感じられるイベントとして、表彰者以外のボランティアの方々も参加できるように、年々少しずつではありますが前進しています。

感謝礼拝では、ボランティア表彰が行われ、今年度は3000時間(2名)・1000時間(1名)・500時間(2名)の計5名の方々に、長い期間に渡るご奉仕に対し感謝状を贈呈致しました。単純な計算で、1日4時間のボランティア活動として考えると、3000時間の場合ですと、約2年間のご奉仕という計算になります。作業内容は様々ですが、継続していくという事の素晴らしさと難しさというものも同時に考えさせられました。改めて、感謝の気持ちでいっぱいになります。

この時期に考える機会を頂いたことで、ボランティアの方々の偉大な功績のおかげで、久山療育園が継続できていることを

実感できます。

それともう一つお知らせです。

今年度も、11月9日(土)にボランティア講習会を開催致します。感染症対策として時間は13:30~15:30と短時間ではありますが、新規のボランティアの開拓の為に開催を決定致しました。申し込みはホームページのQRコードもしくは、代表電話での受付を行います。感染症の状況によっては変更中止も考えられますが、都合の合う方は申し込みをお願いします。

ボランティア活動という久山療育園開設時からの皆様の思いを継続し、久山療育園の事を知らなくても、今後もボランティア活動継続に向けての取り組みや努力を行っていきたいと思います。(ボランティア委員長 島津洋昭)

【専用メールアドレス】

ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールがございます。「興味があるけど、どんなことするのか心配...」「行ってみたいけど、手続きは?」など、いつでもご質問いただけるようになっています。お気軽にご利用ください。
bora@hisayama-smid.jp

歩 行 器

8月に開催された「第38回バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会 職員研修」に参加致しました。この研修では、障害福祉だけでなく、保育や高齢福祉など、キリスト教を基に運営されている施設が、社会福祉事業・活動の現場からの報告や意見を持ち寄り、日々の業務の違いはあっても、社会福祉に携わるものとして、特に精神的な面で大切なことを学んでいます。今回のテーマは、『奏でる福祉を求めて』。キリスト教社会福祉の強みを今と題して、ハンセン病療養所に幼い時から関わられている歌手・沢知恵さんの講演をお聞きしました。ハンセン病に対する日本の歴史、医学上は何も問題はないにも関わらず、誤った社会認識のもと抑圧され続けてきた経緯を、療養所で生きて来られた方々の声を交えて、お話ししました。

「社会から疎外・存在価値を否定されたもの」が、どうやって自身と折り合いを付け、計り知れない苦悩の中で生きてこられたのか、私たちが普段の生活では知り得ないことを語って下さいました。この講演で深く胸に刻まれたのは、『関わりなければ』でした。『関わりたくない』という思い、見えないふりをしてしまう現代社会にあって、人が人と共に生きていくには、『かわり』こそが一番求められていることだと感じました。重度の障害を負った方たちが、決して特別な珍しい存在ではなく、当たり前のように生活されている社会が広がっていくことを願います。

(T・N)

職員募集

【専門職種】

●介護福祉士・保育士・介護職員実践者研修及び初任者研修修了者(重症心身障害児者への日常生活の介助業務、食事介助、入浴介助、療育活動等)

●看護師(重症心身障害児者への看護業務・医療処置)

●園内相談支援員(入所者の計画相談・ケースワーク)

以下いずれかの資格を所持で可(社会福祉士、介護福祉士、相談支援専門員)

●栄養士・調理員(重症心身障害児者の栄養管理・食事提供・調理等)

【その他の職種】

●日常生活補助業務(洗い物、リネンの片付け、利用者の衣類の片付け、日常用具の後片付け、居室清掃、ベッド寝具整頓など)

【雇用形態】

「正規職員」及び「パートタイム契約職員」

【受付】久山療育園 事務部担当課長 波田(ハタ) 氏 (092)976-22081

※詳しくは、ホームページまたはQRコードをご覧ください。

重症心身障害施設
久山療育園ホームページ
<http://hisayama-smid.jp/>



求人情報